

テツホシダ

Thelypteris interrupta (Willd.) K.Iwats.
ヒメシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では1地区で採集されただけで、1967年以降の記録はない。前回の調査でも確認されず、その後も情報がないことから絶滅したものと思われる。

種の特徴

日当たりのよい湿地の水域に群生する多年草。葉柄の長さは20～30cm。葉身は広披針形で長さ30～50cm。羽片は線状披針形で鋭頭。基部はくさび形。胞子のう群は円形～長円形。羽片の縁近くに付く。

分布

全国分布は本州（静岡県以西）～琉球。県内ではあわら市で記録された。

絶滅した要因

生育地の湿地が開発されたことで絶滅した。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1983）、中池敏之（1982）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													●				

アオネカズラ

Polypodium niponicum Mett.
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での確認地は1地区だけで、林道の開設によって、着生していた岩石や樹木がなくなり絶滅した。1972年以降は情報がない。

種の特徴

夏に落葉し、冬に葉を出す。根茎は長く横走する。緑色であることから目立つ。葉柄は5～10cm、葉身は広披針形で羽状に深裂する。裂片は15～25対あり、水平に開出する。胞子のう群は中肋近くに付く。包膜はない。

分布

全国分布は本州（富山県まで）～九州。県内分布は、おおい町。

絶滅した要因

以前から知られていたが、林道造成によって絶滅した。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1981）、中池敏之（1982）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		●															

マルバオモダカ

Caldesia parnassiifolia (Bassi. ex L.) Parl.
オモダカ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

1933年に福井市で採集記録があるが、前回調査、今回調査とも県内での自生が確認されなかったため、絶滅とした。

種の特徴

溜池、農業用水路や湖沼に生えるマルバオモダカ属の多年草。葉は根生し、水深が深い場合は浮葉、浅い場合は抽水葉を展開する。夏の終わりごろ、花序に殖芽を形成する。オモダカ科で浮葉性であるのは本種だけである。

分布

北海道～九州に分布するが、本県を含め、多くの県で絶滅か絶滅寸前の状態である。秋田県ではジュンサイ田の雑草となっている。

絶滅した要因

溜池や農業水路の改修や消失によって、適度な水深がある生育環境が失われたことが絶滅の主要因だと考えられる。

参考文献 矢原徹一監修（2003）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	●